

成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービス。その裏側では、どのようなことが行われているのでしょうか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

第8回 成田市場

～日本初の機能で新鮮なまま世界へ～

令和4年1月、成田空港の入り口まで約3キロメートルの位置に移転した成田市場。その後も引き続き整備が進められていて、飲食店などが入居する関連食品棟のオープンを11月19日に控えています。今回は、地域の食の台所としての役割とともに、農水産物を新鮮な状態で世界に届ける輸出拠点として発展を続ける成田市場を紹介します。

農水産物を輸出するには、検疫や輸出証明書の発行などの手続きをさまざまな場所で行います。通常はその都度、運搬する必要があるため、輸出する航空機に積み込むまでに時間がかかっていました。

成田市場では、この手続きにかかる時間を大幅に短縮することができます。その鍵は日本初の「ワンストップ輸出拠点機能」。空港内の植物防疫所から検疫官を派遣してもらうことで検疫検査を場内で行えるようにしているほか、航空会社や税関といった関係機関の協力を得ることで、輸出に必要なほぼ全ての手続きを同じ建物内で完結させることができます。その結果、産地などから朝に到着した農水産物を最短でその日のうちに輸出できるようになりました。また、屋外を経由して運搬する時間を最小限に抑えられるため、温度変化などによる影響も少なく、より鮮度の高い状態で届けることができます。

ほかの市場では実現できなかったスピードで日本の農水産物を世界に届ける成田市場。その舞台裏には関係機関などの協力を得て導入された日本初の機能がありました。



①



②



③

- ① 近隣地域から多くの農水産物が集まる
- ② 検疫官の検査を受ける
- ③ 仲卸売場では一般の人も買い物

さらに魅力ある市場に

おしだ ひろき
卸売市場 押田 浩樹さん

青果棟・水産棟の仲卸売場では開市日の午前8時～10時には一般の人も新鮮な農水産物の買い物を楽しむことができます。

また、場内の見学者コースでは、市場の役割や機能を知ることもできます。今後、関連食品棟がオープンし、さらに魅力的になる成田市場を楽しみにしててください。



舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式
YouTubeチャンネル

編集後記

「かんせん」と聞くとすっかり感染のイメージが強くなってしまいましたが、今回は観戦の話。現地時間で11月20日からサッカーのワールドカップが始まります。今大会は全試合を生中継するのはインターネットテレビ局のみとなり、時代の変化を感じます。なじみのない環境で問題なく視聴できるだろうかという不安もありましたが、日本代表の試合などはテレビ放送もされるとのこと。夜遅く始まる試合もありますが、体調に気を付けながら観戦したいです。

令和4年11月15日号 No.1471

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは簡デンソーウェブの登録商標です



*本紙は11月7日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。